

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	河川自然災害防止事業	会計	一般会計	事業No.	560	施策順No.	41-011
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-3-3-12-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	41 災害対策の推進		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市地域防災計画 水害予防河川災害等危険か所						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない		
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)		19年度	20年度	21年度	22年度		23年度	
	意図	水害・土砂災害の発生しない河川への改修								
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標		22年度実績	23年度目標
		河川自然災害防止完了延長(m・単年度)		400	400	349.9	350	278	290	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	施工箇所については、災害防止の観点から施工箇所を検討し、実施している。本年度目標に比べ実績が低かったのは、県道敷の深い暗渠部分の施工があったため、全体では目標改良延長に達しなかった。									

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市地域防災計画により、河川災害等危険か所の整備を行い、災害を未然に防ぎ地域住民の安全を確保する。 災害等危険か調書に掲載されている 43カ所 L=5,480mのうち24年度までに4,500m整備する。内平成22年度末でL=4,028m概成。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	優先順位の高い(普)なみき沢川他7河川の改修	施工延長	L=278m
23年度実施計画	優先順位の高い(準)小茂都計川他5河川の改修を予定	施工延長	L=290m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					(地)自然災害防止(充当率100%)
	起債		39,900	39,900	40,000	
	その他					
	一般財源		10	6		
	計(A)		39,910	39,906	40,000	
	正規職員所要時間					トータルコスト A+B
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B			39,906		

4 事業に対する市民や議会の意見

安全な市民生活のため、市民や議会より危険か所等の早期事業着手改修が望まれている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害にそなえている割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田市地域防災計画の災害危険か所に掲載されている河川の改修を行うことは、降雨による出水時の護岸決壊等の災害を未然に防止する。		
	後期に向けた課題	飯田市地域防災計画に掲載されている危険か所は、災害危険か所(河川43か所)ばかりでなく、河川災害等危険箇所調査にも78河川(L=74,461m)掲載されている。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	緊急性が高く、地元からの要望が高い順から現地調査を行い、施工方法、施工範囲を検討し改良を行った。		
	後期に向けた課題	河川災害等危険箇所調査に掲載されている危険箇所を元に優先順位が高く、地元要望も強い箇所から優先的に改修を進める。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	緊急性の高い箇所から予算の範囲内で可能最小限の改良を実施しているが、また延長の長い箇所については数年に分割し計画的に事業を進めている。		
	後期に向けた課題	出来得る限り単年度において効果が得られる施工となるよう計画する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	河川災害等危険箇所調査に掲載されている箇所は市の管理する河川であり、市の関与は必然。地元負担はない。		
	後期に向けた課題	市の関与、受益者負担は考慮する余地はない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	事業主体は市であり、事業実施における調査、計画、施工管理を行っているが、地域の土木改良要望箇所の取りまとめおよび工事実施における周辺関係者への周知等地区的役員の方をお願いしている。		
	後期に向けた課題	事業主体、地元の役割については考慮する余地はない。		
全体を通じて	4年間の振り返り	計画的に事業実施が出来ている。		
	後期に向けた課題	飯田市地域防災計画に掲載されている危険か所は、災害危険か所(河川43か所)ばかりでなく、河川災害等危険箇所調査にも78河川(L=74,461m)掲載されているため、見直しを行い、更に効果的に事業推進が出来るように検討する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------